

## 1. 調査目的

この調査は、区民が区政に対してどのような意見・要望を持っているかを把握し、今後の区政を進めていくうえでの基礎資料とすることを目的としています。

## 2. 調査項目

- |                    |                            |
|--------------------|----------------------------|
| (1) 定住性            | (13) 男女共同参画の推進             |
| (2) 区政             | (14) 犯罪被害者支援               |
| (3) 職員応対           | (15) 多文化共生                 |
| (4) 地域行政制度         | (16) 文化活動                  |
| (5) 福祉と医療          | (17) スポーツ                  |
| (6) 悩みや不安の相談先      | (18) たばこマナー                |
| (7) 高齢者の居場所        | (19) 農業                    |
| (8) 障害者を支える取り組み    | (20) 産業                    |
| (9) 子育て・子どもを取り巻く環境 | (21) 気候危機                  |
| (10) 地域コミュニティ      | (22) 広報                    |
| (11) 公共施設          | (23) 新型コロナウイルス感染症に伴う生活への影響 |
| (12) 災害時の備え        |                            |

## 3. 調査設計

- |          |                              |
|----------|------------------------------|
| (1) 調査対象 | 世田谷区在住の満18歳以上の男女             |
| (2) 対象数  | 4,000人（内訳／日本国籍3,913人、外国籍87人） |
| (3) 抽出方法 | 層化二段無作為抽出法                   |
| (4) 調査方法 | 郵送配布・回収またはインターネットによる回答       |
| (5) 調査期間 | 令和3年5月25日～6月4日               |
| (6) 調査機関 | 株式会社名豊                       |

## 4. 回収結果

- |           |  |
|-----------|--|
| (1) 有効回収数 | 2,086人（内訳／日本国籍2,056人、外国籍30人）                       |
| (2) 有効回収率 | 52.2%<br>(内訳／郵送回収1,525通・73.1%、インターネット回収561通・26.9%) |

## 5. 標本設計

- |           |                  |
|-----------|------------------|
| (1) 母集団   | 世田谷区在住の満18歳以上の男女 |
| (2) 対象数   | 4,000人           |
| (3) 調査地点数 | 200地点            |
| (4) 抽出方法  | 層化二段無作為抽出法       |

【層 化】

世田谷区内を町丁目単位として、次の10地域に分類しそれぞれを層として計10層とした。



地域別町丁名一覧表

地域	町丁目	地域	町丁目			
世田谷東部	池尻	1～4丁目	玉川南部	奥沢	1～8丁目	
	下馬	1～6丁目		東玉川	1～2丁目	
	三宿	1～2丁目		玉川田園調布	1～2丁目	
	太子堂	1～5丁目		等々力	1～8丁目	
	三軒茶屋	1～2丁目		尾山台	1～3丁目	
	野沢	1～4丁目		玉堤	1～2丁目	
	若林	1～5丁目		玉川西部	中町	1～5丁目
	上馬	1～5丁目			野毛	1～3丁目
	駒沢	1～2丁目			瀬田	1～5丁目
		上野毛	1～4丁目			
世田谷西部	世田谷	1～4丁目	玉川	1～4丁目		
	弦巻	1～5丁目	砧北部	船橋	1～7丁目	
	宮坂	1～3丁目		千歳台	1～6丁目	
	桜	1～3丁目		祖師谷	1～6丁目	
	経堂	1～5丁目		砧	1～8丁目	
	桜丘	1～5丁目		成城	1～9丁目	
北沢東部	北沢	1～5丁目	砧南部	大蔵	1～6丁目	
	代沢	1～5丁目		砧公園		
	大原	1～2丁目		岡本	1～3丁目	
	羽根木	1～2丁目		鎌田	1～4丁目	
	代田	1～6丁目		喜多見	1～9丁目	
北沢西部	松原	1～6丁目	宇奈根	1～3丁目		
	梅丘	1～3丁目	烏山	八幡山	1～3丁目	
	豪徳寺	1～2丁目		南烏山	1～6丁目	
	赤堤	1～5丁目		粕谷	1～4丁目	
	桜上水	1～5丁目		北烏山	1～9丁目	
		給田		1～5丁目		
玉川北部	駒沢公園		上祖師谷	1～7丁目		
	駒沢	3～5丁目	上北沢	1～5丁目		
	新町	1～3丁目				
	深沢	1～8丁目				
	桜新町	1～2丁目				
	用賀	1～4丁目				
	上用賀	1～6丁目				
	玉川台	1～2丁目				

### 【標本数の配分】

各地域（層）における18歳以上の人口数（令和3年4月1日現在）により、4,000の標本数を配分した。

### 【抽 出】

① 調査地点の抽出数については、1調査地点の標本数が20になるように、各地域（層）に当てられた標本数より算出し、決定した。

② 調査地点は、各地域（層）ごとに、

$$\frac{\text{地域（層）における人口数}}{\text{地域（層）で算出された調査地点数}} = \text{抽出間隔}$$

を算出し、等間隔抽出法によって、調査地点となる対象者抽出のための町丁目における起算番号を算出した。

③ 対象者の抽出の名簿として、住民基本台帳を使用した。抽出された調査地点における対象者の抽出は、町丁目で指定された起算番号目の人を第1番目の抽出対象とし、以下一定の抽出間隔で指定の対象数20を系統的に抽出した。

④ 以上の結果、各地域（層）別の標本数、調査地点数は次のとおりである。

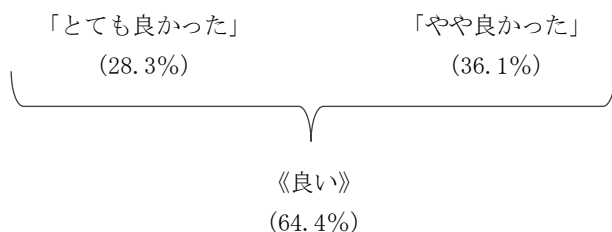
地域		標本数	調査地点数	18歳以上の人口数 (母集団)
世田谷	東部	660	33	130,508
	西部	460	23	90,779
北沢	東部	340	17	66,967
	西部	360	18	70,137
玉川	北部	360	18	72,636
	南部	340	17	68,449
	西部	260	13	51,199
砧	北部	500	25	96,616
	南部	200	10	40,354
烏山		520	26	104,154
計		4,000	200	791,799

(人口は令和3年4月1日現在)

## 6. この報告書のみかた

- (1) 百分比は回答者数（該当設問においては該当者数）を 100%として算出し、本文及び図表の数字はすべて小数点第 2 位を四捨五入してある。したがって、比率の合計が必ずしも 100.0%にならない場合がある。同様に、複数の回答の合計値も図表の数字が一致しない場合がある。

例：図 3-1-1



- (2) 設問中に特に指示がない限り、回答は 1 つである。
- (3) 複数回答の設問は、すべての比率の合計が 100.0%を超えることがある。
- (4) 設問に対して無回答があったクロス集計による分析では、各回答者数の合計が全体の回答者数と一致していない。
- (5) 基数が 30 に満たないデータについては参考値とする。

## 7. 標本誤差

下記は二段抽出の標本誤差算出の数式である。

$$\text{(標本誤差)} \quad b = 2 \sqrt{2 \times \frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N=母集団（世田谷区全体） n=比率算出の基礎（サンプル数） p=回答比率
---

Nはnより非常に大きいため、 $\frac{N-n}{N-1} \doteq 1$ とみなすことができるので、標準誤差の範囲は、次の標本誤差早見表のとおり求められる。

標本誤差早見表

基数(n)			回答比率(P)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
総数			2,086	± 1.3%	± 1.7%	± 2%	± 2.1%	± 2.1%
地域	世田谷	東部	313	± 3.3%	± 4.4%	± 5.1%	± 5.4%	± 5.5%
		西部	268	± 3.6%	± 4.8%	± 5.5%	± 5.9%	± 6%
	北沢	東部	150	± 4.8%	± 6.4%	± 7.3%	± 7.8%	± 8%
		西部	178	± 4.4%	± 5.9%	± 6.7%	± 7.2%	± 7.3%
	玉川	北部	184	± 4.3%	± 5.8%	± 6.6%	± 7.1%	± 7.2%
		南部	196	± 4.2%	± 5.6%	± 6.4%	± 6.8%	± 7%
		西部	131	± 5.1%	± 6.8%	± 7.8%	± 8.4%	± 8.6%
	砧	北部	278	± 3.5%	± 4.7%	± 5.4%	± 5.8%	± 5.9%
		南部	112	± 5.5%	± 7.4%	± 8.5%	± 9.1%	± 9.2%
	烏山			262	± 3.6%	± 4.8%	± 5.5%	± 5.9%
性別	男性		802	± 2.1%	± 2.8%	± 3.2%	± 3.4%	± 3.5%
	女性		1,244	± 1.7%	± 2.2%	± 2.5%	± 2.7%	± 2.8%
年代	10・20歳代		204	± 4.1%	± 5.5%	± 6.3%	± 6.7%	± 6.9%
	30歳代		256	± 3.7%	± 4.9%	± 5.6%	± 6%	± 6.1%
	40歳代		381	± 3%	± 4%	± 4.6%	± 4.9%	± 5%
	50歳代		406	± 2.9%	± 3.9%	± 4.5%	± 4.8%	± 4.9%
	60歳代		293	± 3.4%	± 4.6%	± 5.2%	± 5.6%	± 5.7%
	70歳代		299	± 3.4%	± 4.5%	± 5.2%	± 5.5%	± 5.7%
	80歳以上		213	± 4%	± 5.4%	± 6.1%	± 6.6%	± 6.7%

基数(n)		回答比率(P)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
n = 2,500の場合		(2,500)	± 1.7%	± 2.3%	± 2.6%	± 2.8%	± 2.8%
n = 2,000の場合		(2,000)	± 1.9%	± 2.5%	± 2.9%	± 3.1%	± 3.2%
n = 1,500の場合		(1,500)	± 2.2%	± 2.9%	± 3.3%	± 3.6%	± 3.6%
n = 1,000の場合		(1,000)	± 2.7%	± 3.6%	± 4.1%	± 4.4%	± 4.5%
n = 800の場合		(800)	± 3.0%	± 4.0%	± 4.6%	± 4.9%	± 5.0%
n = 600の場合		(600)	± 3.5%	± 4.6%	± 5.3%	± 5.7%	± 5.8%
n = 400の場合		(400)	± 4.2%	± 5.7%	± 6.5%	± 6.9%	± 7.1%
n = 200の場合		(200)	± 6.0%	± 8.0%	± 9.2%	± 9.8%	± 10.0%
n = 100の場合		(100)	± 8.5%	± 11.3%	± 13.0%	± 13.9%	± 14.1%

(注) この表の見方は次のとおりである。

「ある設問の回答数が2,086人であり、その設問の選択肢の回答比率が40.0%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高で±2.1%である。」